

能代市総合計画市民協働会議提案

能代市の新たなまちづくりの方向性を示す第2次能代市総合計画は、市民協働会議での検討を経て、市民と行政の協働により平成29年度に策定されました。

計画の進行管理についても、本会議が点検・評価・改善等を検討することとされており、今年度は、目標指標の推移を踏まえて政策を点検・評価するとともに、取組の改善策等の検討を行いました。

検討にあたっては、改善等が必要であると考えられる特定の分野を重点的に協議することが重要であると捉え、提案すべき政策を絞り込み、集中的に協議しました。

また、その過程において、現状や課題について、主に次のような指摘がありました。

- ① 市民が地域の魅力を認識し、能代のすばらしさを市外へPRできるようになる取組が必要である。
- ② 様々な地域資源が十分に活かされていない現状があり、これらを最大限に活用するためには、まちづくりの主体間での合意形成と連携が必要である。
- ③ 暮らしやすいまち、住みたくなるようなまちにしていくためには、生活環境の整備に加え、市民の意識改革も必要である。

以上を踏まえ、第2次能代市総合計画に掲げた将来像「“わ”のまち能代」の実現に向けて、まちづくり評価書及びまちづくり提案書を別添のように取りまとめましたので、提出いたします。

令和元年11月6日

能代市長 齊藤 滋 宣 様

能代市総合計画市民協働会議
委員長 山内 繁